

2026年7月6日

株式会社三菱UFJ銀行

チューリング株式会社への出資を通じた自動運転産業の創出・発展に向けた取り組みについて

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{おおさわ まさかず}大澤 正和、以下 当行）は今般、日本における自動運転産業の創出に向け、完全自動運転システムの開発を行う Turing 株式会社（代表取締役 山本一成、以下チューリング）に出資いたしました（以下 本出資）。当行は、当行が有する幅広いネットワークと高度な金融サービスを活用し、チューリングが開発する自動運転システムの社会実装に向け、さまざまな関係者と協働してまいります。

自動運転産業は、今後大きな成長が展望される産業の一つであり、自動運転は交通や移動に関する社会課題の解決だけではなく、今後のサービス拡張により、自動運転サービスを起点とした多岐にわたる産業やサービスとの連関が想定され、新しい経済価値を生み出すことが期待されています。また、自動運転技術は日本政府が選定する 17 の戦略分野においても主要な製品・技術等の一つに挙げられています。ソフトウェアの価値が高まり、Software Defined Vehicle 化が進展する中、日本の産業競争力の維持・強化の観点で国産の自動運転技術を開発・実装する重要性は高まっています。

チューリングは、完全自動運転の実現を目指すスタートアップです。カメラから得た情報をもとに、認識・判断・車両制御までを一気通貫で担う E2E 自動運転システムを開発しています。さらに、歩行者・標識・信号・道路状況などを言語的に理解し、複雑な運転シーンにも柔軟に対応するフィジカル基盤モデルの開発にも取り組んでいます。モデル開発から車両への実装までを自社で一貫して推進し、あらゆる条件下で車が人間に代わって運転操作を行う、完全自動運転の社会実装を目指しています。

自動運転技術の開発には計算資源の確保等で多額の資金が必要であり、社会実装においてはバリューチェーンが多岐に渡ることからさまざまな関係者による連携が必要です。当行は本出資により、当行が有する高度な金融サービスと幅広いネットワークを活用し、自動運転システムの開発を支える金融スキームの構築検討や自動運転に対する社会受容性の醸成、ネットワークを活用した関係者間の座組構築支援を進め、日本における自動運転技術の開発および社会実装に貢献し、自動運転を軸とした新たな産業クラスターの創出を目指してまいります。

当行は、「お客さまと事業リスクを共にし、社会課題の解決に向けた新産業を創出」する事業共創に取り組んでいます。本出資を通じて、関係者との協働の下、多様な社会課題解決および、自動運転産業の創出・発展に貢献してまいります。

【チューリング概要】

正式名称	Turing 株式会社
代表者	山本 一成
所在地	東京都大田区平和島 6 丁目 1-1 東京流通センター物流ビル A 棟 AE2-1-2
設立	2021 年 8 月
事業内容	完全自動運転システムの開発

以 上